

# 松陽地区 コミュニティだより

■編集・発行/  
松陽地区コミュニティ推進協議会  
■住所/  
十和田市大字立崎字立崎20-2

## 第3回 松陽地区 「ふれあいフェスタ」を開催!



2月8日(日)午前10時から元松陽小学校体育館で第3回目となる「松陽地区ふれあいフェスタ」を開催しました。これは地域住民が冬ののいつときを子供から高齢者まで一緒にしながら歌や踊りなどで楽しんでもらうと企画したものです。

今回の実施にあたっては地域の皆さんの多大なご協力をいただきました。ただ、残念なことに豊ヶ岡保育所の幼児がインフルエンザにかかり出演できなくなりました。竹内所長から「大多数の園児がインフルにかかりました。地域の皆さんが大変楽しみにしていたと思いますが出演が出来なく大変残念です。来年は頑張ります」とお詫びの言葉がありました。急遽、元豊ヶ岡保育所長の十枝内さん

が踊りなどで活躍していることを思い出し、お願いをしたところ、「今は一本木沢町内に住んでいます。松陽地区はふるさとです。何人かに声掛けし出演しましょう」とありがたい言葉をいただきました。逆に「松陽地区は頑張っている」とお褒めの言葉まで賜りました。

また、千里平農工園の生徒さんも今年も頑張ってくれました。生徒の皆さんはこのフェスタの出演を楽しみにしているようです。

さらには、十和田市消費者の会から「松陽地区における訪問購入トラブル」について寸劇で分かりやすく説明してくれました。

今年もまた松陽地区の児童生徒による「大深内地区少年駒踊り」が出演してくれました。特に、笛吹に弟、妹のために高校生のお姉さん2人が応援にかけつけ笛を吹いてくれました。感謝です。

最後は十和田市無形文化財に指定されている立崎の駒踊りが勇壮豪快に「トリ」を飾っていただきました。少年と大人の「駒踊り」の競演ができたことは他地区では見られないことであり感慨深いものがあります。

カラオケにも飛び入り参加があるなど大いに盛り上がりを見せ「お花」がたくさん上がりました。

## 松陽地区「ふれあいフェスタ」に参加して



大深内中学校3年  
田高 桜来

りです。私たちは先輩方からその思いを引き継ぎ、自分たちの代でも責任をもって受け継いできました。そして後輩たちへつなぐことができたことをうれしく思います。伝統は人から人へ受け継がれてこそ守られるものだ実感しました。

僕は、2月8日(日)に元松陽小学校体育館で開催された「第3回ふれあいフェスタ」に大深内地区少年駒踊りの一員として参加しました。昨年も参加しましたが、中学3年生として最後の駒踊りを披露させていただきました。当日は松陽地区の5年生から中学生まで10名のほかに笛吹の高校生2人が応援してくれ、これまで私たちを支えて下さった地域の皆さんに、その姿を見ていただくことができ、温かく多くの激励の拍手をいただき、3年間続けたことへの達成感と感謝の気持ちでいっぱいになりました。

中学校で取り組んでいる「大深内地区少年駒踊り」は50年以上続く伝統ある踊りです。

松陽地区は人が温かく、絆の深い地域です。僕も含め若い世代が地域を活性化しさらに盛り上げてほしいと思います。また、今後も子供たちが安心して伝統を学び地域行事に参加できる場所であってほしいと願っています。そして、立崎地区の駒踊りもより多くの若い世代に広まり将来にわたって受け継がれていくことを心から祈念いたします。

3回目の企画でしたが、地域の方からは「楽しかった」、「来年もやってほしい」との声を聞き大きな勇気ももらいました。来年に向けてもっと多くの皆さんが参加できるよう運営や進行など検討し頑張っていきたいと思えます。皆さんか

らのご意見、要望をお聞かせください。コミュニティ組織ができて4年です。まだまだ組織上の問題や運営の課題など多くあります。各機関、団体などと連携を図りながら活動して参りますので、ご支援ご協力をお願いいたします。

# 第3回 松陽地区「ふれあいフェスタ」特集!!



カラオケ飛び入り「男の港」  
大下内町内会 甲田 繁美 さん



カラオケ「酒よ」  
立崎町内会 立崎 和寿 さん



踊り「ジンギスカン」

農工園 千里平の皆さん



踊り「あの子はいっちゃった」



カラオケ「東京砂漠」  
早坂町内会 坂本 一美 さん



今年も13名が頑張ってくれました



踊り「温泉芸者」

友情出演 元豊ヶ岡保育所所長 十枝内美和さんグループ「ミワーズ」



踊り「三本木小唄」



松陽地区内の児童生徒による「大深内少年駒踊り」



弟(悠仁)、妹(陽菜子)の笛吹きに  
高校生で姉の里櫻子さん、李々果さんが応援



観客も手拍子で熱心に応援してくれました



踊り「寿」

東栄町内会 大久保 幸子 さん



フェスタのトリは市指定無形文化財の立崎駒踊り



「野馬取り」の様子を勇壮豪快に踊ってくれました



寸劇「訪問販売トラブル」

十和田消費者の会 鈴木会長他



カラオケ「山河」

豊ヶ岡町内会 大下内 眞一 さん

# 東栄町内会「たんぽぽの会」訪問



東栄町内会  
「たんぽぽの会」  
代表 山端 登さん

1月25日に東栄町内会の「たんぽぽの会」を訪問しました。

東栄町内会は昭和21年に26戸で入植し80年になり、現在は3代目が農業の経営の中心となっています。そこで、2代目の70歳以上の方で経営に関わりなく比較的に自由に動ける人達で自由に話し合い、手作りの料理でも食べながら楽もうと、令和6年3月にこの「たんぽぽの会」を立ち上げました。中心となったのが山端登さんで町内会員に呼びかけたところ21名(男性9名、女性12名)の皆さんが参加してくれました。

これまでの活動では、健康体操、パタングやゲートボール等のゲーム、バス旅行、老健とわたの指導で、「いきいき教室」の開催、トランプ等行っていますが男性も多く参加してくれました。

会費は1,000円ですが、町内会と転作営農組合から好意により助成金をいただき運営しています。酒などは事故な



「パタング」で楽しみました

どを考慮し忘年会と新年会だけとし、それ以外はおにぎりを持参して豚汁やカレー等女性陣の料理に舌鼓をうちながら昔の思い出など「わいわいがやがや」と賑やかに語り合っています。

山端会長は、「町内会にいてもなかなか話し合うことが少なく、皆がこの会を楽しみにしているようです。今後も月1回の開催で、皆さんの希望も取り入れながら新しい事業にも取り組み、楽しい会にしていきたい」と話してくれました。

他の町内会でも70歳以上の「高齢者が集まる場」を考えてみませんか。楽しみに待っている方がいると思いますよ。

# 生活圏域生活支援体制整備推進会議が 開催されました

1月16日(金)と2月13日(金)の2回にわたって十和田市北地区包括支援センターが主催する「生活圏域生活支援体制整備推進会議」が立崎公民館で開催されました。

この会議は、市の高齢化率は36%で10年後には40%、大深内地区では45.1%になることから高齢者の方が住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、地域における支えあい、助け合いの活動の体制整備や、地域や人の繋がりを支援していくためにはどうすればよいのか等その方策について情報交換する場です。

当日は、北地区包括支援センター、老健とわたの職員、他の松陽地区コミュニティ推進協議会の役員、地域で活動している東栄町内会「たんぽぽの会」、清水町内会「ラククラックの会」、豊ヶ岡町内会「けやぐの会」の代表者と伊谷沢町内会の有志の皆さんが集まり懇談しました。

3つの団体から会の立ち上げの経緯と活動内容や課題などについて発表されましたが、特に地域の高齢者は一人世帯や高齢者だけの世帯が多く孤独感を持っておりこのような会に参加してなんでも気軽に話し合う場を望んでいる。会に来てくれた方の見守りにもなっている。また、会に運営に町内会などの支援が必要だなどの意見が出されました。

# 今後は、このような会を松陽地域に 広げていくためには、呼びかけていく 先立ち(リーダー)の育成と少ない人数 でも続けていくことによって輪が広が ってくるのではないかと。また、包括支 援センターや老健とわた、さらには社 会福祉協議会等関係機関と連携しなが ら協議していきたいと話されました。

今後は、このような会を松陽地域に広げていくためには、呼びかけていく先立ち(リーダー)の育成と少ない人数でも続けていくことによって輪が広がってくるのではないかと。また、包括支援センターや老健とわた、さらには社会福祉協議会等関係機関と連携しながら協議していきたいと話されました。

十和田市北地域包括支援センター  
鶴ヶ谷 弘恵 記



会議の様子